学校番号	T0207

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校数学Ｂ （実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業中に行う練習プリントは、ファイル・教科書等を参考にして学習内容の確認のためのものです。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・所定の用紙に黒板に書かれた内容等を書きファイルに綴じてください。
　また､後で練習プリントでの学習のときなど､見直しのときにわかるようにていねいに書くようにしてください。

2　学習の到達目標

確率分布と統計的な推測、数列又について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、数学と社会生活で、それらを活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・確率分布を表に示すことができる。 ・正規分布の意味を理解し、その性質を利用して確率を求めることができる。 ・標本平均の意味を理解し、母集団の平均と標準偏差から、標本平均の平均と標準偏差を求めることができる。 ・数列の意味を理解し、数列の各項や一般項を求めることができる。 ・和を表す記号Σの意味を理解し、Σを用いて数列の和を表すことができる。 ・漸化式の意味を理解し、漸化式から一般項を求めることができる。 ・数学的帰納法を利用して、等式の証明ができる。	・平均、分散、標準偏差が、確率変数の分布のどのような特徴を示すか考察できる。 ・二項分布や正規分布の特徴について考察できる。 ・信頼区間の意味について考察できる。 ・仮説検定の方法について考察できる。 ・数列の規則性について考察することができる。 ・Σの性質を利用して、いろいろな数列の和を求めることを考察できる。 ・数学的帰納法の仕組みについて考察できる。	・平均、分散、標準偏差を用いて、分布の特徴を掴むことの良さを理解しようとしている。 ・全数調査や標本調査にはどのようなものがあるか見つけようとしている。 ・信頼区間を考えることのよさを理解しようとしている。 ・身の回りで規則性のあるものを見つけようとしている。 ・Σを用いて数列の和を表すことの良さを理解しようとしている。 ・数学的帰納法を利用して証明した命題について、ほかの証明方法を見つけようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	統計的な推測	確率変数	知識・技能 ・確率分布を表に示すことができる。 ・正規分布の意味を理解し、その性質を利用して確率を求めることができる。 ・標本平均の意味を理解し、母集団の平均と標準偏差から、標本平均の平均と標準偏差を求めることができる。 思考力・判断力・表現力 ・平均、分散、標準偏差が、確率変数の分布のどのような特徴を示すか考察できる。 ・二項分布や正規分布の特徴について考察できる。 ・信頼区間の意味について考察できる。 ・仮説検定の方法について考察できる。 主体的に学習に取り組む態度 ・平均、分散、標準偏差を用いて、分布の特徴を掴むことの良さを理解しようとしている。 ・全数調査や標本調査にはどのようなものがあるか見つけようとしている。 ・信頼区間を考えることのよさを理解しようとしている。	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物
		正規分布		考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物
		統計的な推測		考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物
後期	数列	数列とその和	知識・技能 ・数列の意味を理解し、数列の各項や一般項を求めることができる。 ・和を表す記号Σの意味を理解し、Σを用いて数列の和を表すことができる。 ・漸化式の意味を理解し、漸	考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物
		いろいろな数列		考査	考査 レポート	振り返り シート 提出物

		漸化式と数学的帰納法	化式から一般項を求めることができる。 ・数学的帰納法を利用して、等式の証明ができる。 思考力・判断力・表現力 ・数列の規則性について考察することができる。 ・Σの性質を利用して、いろいろな数列の和を求めることを考察できる。 ・数学的帰納法の仕組みについて考察できる。 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りで規則性のあるものを見つけようとしている。 ・Σを用いて数列の和を表すことの良さを理解しようとしている。 ・数学的帰納法を利用して証明した命題について、ほかの証明方法を見つけようとしている。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度